



# 2月の園だより



2012.2.1  
ポートピア保育園

「四角い頭をま～るくしてきました！」

「1月は急ぐ、2月は逃げる、3月は去る」に表されているように、あっ！という間に2月を迎えました。きっと2月も逃げ足早く行ってしまおうのでしょうかね。

さて、今年は龍にちなんで上昇すべく、張り切って18日から20日まで東京で開かれた専門講座を受講してきました。休憩を挟みながらでしたが8時間みっちり集中講義を受け、頭がくらくらしそうでした。

他方面から参加している先生方と情報交換ができ、新システムについての認識やこれからの保育園の役割についても造詣が深められ内容の濃い研修でした。

レポート作成という宿題もしっかり与えられていたので帰ってからも四苦八苦でしたが・・・。  
今後、新システムが導入され保育園の形態が大きく変わると予想されます。この大きな波を乗り越えるためには課題も多く、考え方を柔軟にして事に当たらなければならないと気持ちを引き締めています。

## 相田みつを美術館に行ってきました～

長く厳しかった研修も終わり神戸に帰る日。  
新幹線には少し時間があつたので有楽町にある「相田みつを美術館」に立ち寄りました。  
沢山の書のなかでひとときわ目を奪われた言葉がありました。  
「そのままがいいがな」です。その人の良い所も欠点もみんな個性として受け入れて、それでも「ええんやで」と包み込む温かさがひしひしと伝わってきました。



研修で疲れていた心が癒されました。

園長 中 恵津子



## 2月の行事

- 1日(水)耳鼻科検診(4・5歳)
- 3日(金)豆まき  
卒園写真撮影(5歳)
- 6日(月)身体計測(2・3歳)
- 7日(火)身体計測(0・1歳)
- 8日(水)身体計測(4・5歳)
- 9日(木)誕生会
- 15日(水)港島小学校給食体験(5歳)
- 16日(木)弁当日
- 23日(木)避難訓練
- 13日(月)～18日(土)絵画展

### 耳鼻科検診

- ・0～2歳は調査票にチェックのあったお子さんのみ診ていただきます。
- ・3歳は3歳児検診との兼ね合いにより検診はありません。

## きょうだいグループ

### ねらい

- ・仲間意識を深め年下の友達と気持ちを通わせたり、お世話をしたりすることを通して、思いやりの気持ちを持つ。
- ・冬の自然に目を向けながら戸外で元気にあそぶ。

日程：(毎週 火曜日)

7日・14日・21日・28日

### 集まる部屋

- おんぷグループ：くま組
- はっぱグループ：ひつじ組
- りんごグループ：ぺんぎん組
- おはなグループ：ぱんだ組
- いるかグループ：ぞう組(ホール)
- ちょうちょグループ：きりん組



実習生受入れ

2月20日(月)～3月3日(土)神戸女子短大

# 2月 食育だより

総合目標：よく噛んで  
食べよう  
南犬立目標：カミカミメニューを  
とり入れる

## ＜よく噛んで食べることの大切さ＞

最近あまり噛まなくてもよい食べ物が多くなってきています。しかし、噛むことにはたくさんいいことがあるので、よく噛んで食べてほしいです。

★「噛む」ってこんなにいいこと！

- ・歯やあごの骨、口の周りの筋肉が発達する  
(歯並びがよくなる、言葉の発音もはっきりする)
- ・食べ物がじっくり味わえ、味覚が発達する
- ・脳への血液のめぐりがよくなり、頭の働きが活発になる
- ・満腹感を得やすく、食べすぎをおさえる
- ・唾液がよく出て、消化がよくなる(虫歯予防にもなる)



★よく噛んで食べるために

- ・急いで食べない  
(ゆっくり味わって食べる、噛みごたえのある  
食べ物は1口30回を目安に。)
- ・飲み物で流し込まない  
(食べ物が口の中にある時は飲み物を  
摂らないようにする)

★噛みごたえのある食べ物



## ＜今月のお楽しみ南犬立メニュー＞

2月3日 鬼打ち豆ごはん



2月3日は立春の前日で節分です。  
鬼打ち豆ごはんは人参や大豆をご飯に混ぜこんで  
グリーンピースやブロッコリーで顔を作ります。

9日 お誕生会メニュー

洋風たきこみごはん スコッチエッグ  
ミニトマト、スパゲティサラダ、コーンスープ

13日 ココアハートケーキ、14日 ハートの人参の甘煮

バレンタインデーにちなんで、ハートの形をした  
ものを出します。愛情をたくさん込めて作ります。



17日 岡山県の郷土料理

岡山のはら寿司、豆腐のうそはらし、あみ大根風  
鯛のそうめん汁といった豪華な郷土料理が出来ます  
楽しみにしていて下さい。

文責：秋田

## お米こめ

毎日、なげなく食べている  
お米を年長さんが育てました。  
夏には虫をとるのも大変でした。  
子どもたちは育てながら実際に  
それがいつか食べているお米になる  
とはイメージできていたからには  
です。秋にたけり収穫するときには  
「うわあ〜!!」とおどろきの声をあげて  
いました。とても貴重な体験が  
できました。  
(小川)